

7/5 7月は県産品奨励月間です
市産品奨励と市内企業の優先使用を要請



宜野湾市商工会(長堂昌太郎会長)による、市産品奨励及び市内企業優先使用にかかる要請が行われました。毎年7月の県産品奨励月間に合わせて、県内商工会が「地元産品優先使用要請活動」を行っており、当要請もその一環となっています。長堂会長は「コロナ禍で経済活動が厳しくなっている中、中小・零細企業をフォローしていけるようしっかりと取り組んでいきたい。」と意を語りました。

7/8 ちゅいしーじーの心で、地域の福祉活動
市社会福祉協議会に新会長が就任



宜野湾市社会福祉協議会が、6月24日付けで就任した新会長の報告を行いました。同協議会とは、各種福祉サービスや相談、ボランティアや市民活動の支援など、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。新会長の伊佐友孝会長は「市民の皆さまの笑顔を沢山つくれるように、事務局と一緒に頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお願いたします」とあいさつしました。

6/29 温かいご寄附ありがとうございます
宜野湾市はごろも緑化会から寄附金贈呈



宜野湾市はごろも緑化会(森根清昭代表理事)が市役所を訪れ、寄附金を贈呈しました。同会は、宜野湾海浜公園等の指定管理者である「はごろもPMパートナーズ管理運営委員会」の一員として、市内公園の管理・運営を行っています。森根代表理事は「寄附金は、はごろも緑化会の地域・社会貢献の志ではございますが、市民の皆さまのためにご利用いただければ幸いです」とあいさつしました。

6/29 自主防災組織に対する補助金の増額等を提言
市議会から政策等の提言を手交



4月に市議会が実施した「第7回議会報告及び市民との意見交換会」で寄せられた48件のご意見・ご要望をもとに協議・検討した政策等の提言書が、上地議長、平良副議長及び市議会各委員長から市長へ手交されました。提言については、地域防災力を高めるため、自主防災組織に対する補助金の増額を要請する内容となっています。また、あわせて33件のご意見についても市長へ申し送りされました。

7/8 温かいご寄附ありがとうございます
大発工業株式会社から寄附金贈呈



大発工業株式会社(玉城出人代表取締役)から、寄附金の贈呈がありました。同社は、平成28年の宜野湾市学校給食センター新築工事に携っており、平成29年度宜野湾市優良建設業者に表彰されています。仲村茂常務取締役は「将来の夢や希望をもつ子どもたちへ支援したいとの社長の思いから、宜野湾市への恩返しと社会貢献の一環として寄附させていただきました」とあいさつしました。

7/11 まちでニコリあいさつ・声かけ運動
ちびっこあいさつひろめ隊任命式



市と市社会福祉協議会では、小学校新一年生を対象に「ちびっこあいさつひろめ隊任命式」を行っており、隊員の証として「まちニコシール」を贈呈しています。今年、市制施行60周年記念事業としてハローキティとコラボしたまちニコシールを作成しました。長田小学校で開催された贈呈式では、新一年生を代表して照屋諒さんに任命証として「ハローキティ★まちニコシール」を贈呈しました。

6/30 市制施行60周年を祝って
株式会社ジミーから祝い菓子の寄贈



株式会社ジミー(稲嶺盛一郎代表取締役)から、市制施行60周年記念式典への祝い菓子「紅芋スライスケーキ、黒糖スライスケーキ」の寄贈がありました。祝い菓子は、7月1日の市内公立小中学校の学校給食の献立メニューにも入りました。稲嶺代表取締役は「市制施行60周年おめでとうございます。市の一企業として、これからも宜野湾市を応援していきたいと思っております」とあいさつしました。

6/30 停電の早期復旧を図り、減災に繋げる
災害時における相互連携に関する協定締結式



沖縄電力株式会社送配電本部浦添支店(伊礼直人支店長)と「災害時における相互連携に関する協定」の締結式が行われました。本協定は、大規模災害発生時に相互に連携し、迅速かつ的確に対応することにより、早急に停電復旧に取り組むことを目的に、緊急連絡体制の構築、住民への停電情報の周知、活動拠点の提供、樹木の伐採や道路の障害物の撤去への協力などの内容となっています。

7/11 温かいご寄附ありがとうございます
宜野湾市建築設計事務所会から寄附金贈呈



宜野湾市建築設計事務所会(比嘉貴馬会長)の関係者が市役所を訪れ、普天間未来基金へ寄附金を贈呈しました。比嘉貴馬会長は「建築設計事務所会として、宜野湾市に貢献できることは何かと考え、普天間飛行場返還後の跡地利用と、その事業に係る人材育成に役立ててもらえたらと思い、寄附を思い立ちました。宜野湾市の未来に役立ててほしいです」とあいさつしました。

7/13 普天間未来基金を活用し、未来を担う人材を
宜野湾市中学生語学研修派遣事業結団式



本事業は、市在住の中学生に語学研修の機会を与え、英語による実践的コミュニケーション能力の向上と国際的視野を持つ人材の育成を目的としています。中野莉紗さん(昭和薬科大附属中2年)は「研修に参加できることがとてもうれしく、感謝しています。研修を通して、様々な分野の言葉を学び、将来の夢である通訳士に生かせるよう頑張りたいです」と英語で抱負を話しました。

6/30 温かいご寄附ありがとうございます
宜野湾市管工事協同組合寄附金贈呈式



宜野湾市管工事協同組合(山内聡理事長)、有限会社ヤマウチ設備(山内聡代表)、株式会社大設(大兼久健代表)から、市育英会、市社会福祉協議会への寄附金が贈呈されました。同組合は、宜野湾市より指定を受けた事業者によって昭和54年に設立され、上下水道ならびに給排水工事の専門工事業団体として、市内公共施設の維持管理や、民間施設の修理、補修工事等、様々な事業を行っています。

7/3 観光産業を活気づけ、みんなに笑顔
ぎのわんの空を1万発の花火が彩る



『宜野湾市制60周年記念事業 JAL PRESENTS 第19回琉球海炎祭』(主催:琉球海炎祭実行委員会)が宜野湾海浜公園にて開催されました。約3年ぶりとなる今回は、クラウドファンディングによって県内外の皆さまから温かいご支援をいただき開催にいたりしました。同実行委員会からは、市内の子どもたちにも笑顔を取り戻してほしいという思いから、宜野湾市母子寡婦福祉会へチケットの贈呈もありました。